

*下線部分は、2008年9月に改訂しました。

使用に際して、この説明文書を必ず読むこと。また、必要な時に読めるよう大切に保管すること。



ベンザブロックIP細粒

イブプロフェン配合 かぜ薬

第2類医薬品



特徴

イブプロフェンの解熱・鎮痛作用により、かぜによる発熱・さむけ(悪寒)・頭痛・のどの痛みなどに効果があります。6種の成分がバランスよくはたらいて、かぜのいろいろな症状を緩和するかぜ薬です。かぜのときに消耗しがちなビタミンCアスコルビン酸を配合しています。口の中でサッと溶けるのみやすい淡橙赤色の細粒です。

⚠ 使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと
(1) 本剤による過敏症状(発疹・発赤、かゆみ、浮腫等)を起こしたことがある人。
(2) 本剤または他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
(3) 15歳未満の小児。
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去たん薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬(鼻炎用内服薬、乗り物酔い用薬、アレルギー用薬、催眠鎮静薬)
3. 服用後、乗り物または機械類の運転操作をしないこと
(眠気があらわれることがある。)
4. 服用時は飲酒しないこと
5. 5日を超えて服用しないこと



相談すること

1. 次の人は服用前に医師または薬剤師に相談すること
(1) 医師または歯科医師の治療を受けている人。
(2) 妊婦または妊娠していると思われる人。
(3) 授乳中の人。
(4) 高齢者。
(5) 本人または家族がアレルギー体質の人。
(6) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(7) 次の症状のある人。
高熱、排尿困難
- (8) 次の診断を受けた人。
フェニルケトン尿症、甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、緑内障、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病
- (9) 次の病気にかかったことのある人。
胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病
2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師または薬剤師に相談すること
(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、胃痛、口内炎
精神神経系	めまい
その他	排尿困難、むくみ、目のかすみ、耳なり

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。

(裏面へ続く)

